

- 1 会議名 厚生・文教常任委員会協議会
- 2 日時 令和3年1月20日(水)  
午後2時30分から午後3時12分まで
- 3 場所 第2、第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 大野慎治 (副委員長) 井上真砂美  
(委員) 鬼頭博和、黒川武、須藤智子、伊藤隆信、木村冬樹  
欠席委員 なし
- 5 説明員 健康福祉部長 山北由美子、福祉課長 富邦也 同統括主査 大島富美 長寿介護課長 中野高歳 同統括主査 高橋善美 同統括主査 浅野弘靖
- 6 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主事 丹羽亮二
- 7 委員長挨拶
- 8 健康福祉部長挨拶
- 9 協議事項

- (1) 岩倉市障がい福祉計画(第6期)及び障がい児福祉計画(第2期)(案)について

福祉課長：資料に基づき説明。

障がい福祉グループ長：計画について資料に基づき説明。

**【質疑】**

木村委員：23年度が目標ということで数字が挙がっているが、今までも障害福祉計画の中でアウトカム目標はずっと設定されてきたのか。

福祉課長：新たに追加されたもの。

木村委員：国の指針に従って作っているのではなかなか難しいと思っている。一般就労への移行等は難しい目標だと思う。達成度は問われない目標ということでいいか。

福祉課長：そのとおりで、目標を掲げて、達成を目指していく。

- (2) 第8期岩倉市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(案)について  
長寿介護課長：資料に基づき説明。

**【質疑】**

特になし。

- (3) その他

特になし。

10 その他

大野委員長：閉会中の継続審査事項について説明させていただきたい。まず1点目、自殺対策事業の中で、オンラインの相談が出来ないかという提案だったが、各自治体を調べたところ、オンライン相談を実施している所はまだないようだ。もし、実施している自治体を見つけたら報告して頂きたい。また、厚生労働省から毎年ポスターが出ているが、枚数が少なく市役所には貼ってあるがホームページにも掲載されておらず、市全体でポスターが数枚掲示されている状態。自殺対策事業として、先進自治体では必ずホームページでこういった取組をしている。自殺予防週間とか自殺対策強化月間等をまずは、市ホームページに載せるべき。また、岩倉市自殺対策計画の中でも、ホームページで啓発するというのも書いてあるので、まずは、ホームページ、各自治体の掲示板にポスターをはることで相談窓口がありますよということを知ってもらうことから始めてはどうか。資料も添付しているのでご意見をいただきたい。

適応児童教室や不登校対策でオンライン授業ができないかという提案があるが、まだ、学校にタブレットも届いていないという状況なので、まずは担任や学年主任の先生がG o o g l eのT e a m sで意見交換の場をまず作れるように体制を整える準備段階に入っていかなければならない。まずは、学校に入ってからのどのような手続きで行っていくかを今から決める場所なので、提案は控えていただきたいということであった。

大府市の感染症対策条例、各自治体のコロナウィルス感染症に対する条例一覧、思いやり対策条例の資料を配付する。必要であれば当局と意見交換を行う。当局との意見交換の日程調整は後日。

木村委員：自殺対策事業のオンライン相談については、やはり議論があるから推進する立場だけで話を進めない方が良くと思う。対面でないと難しいと専門職の人から聞く。推進ばかり見ていると落とし穴にはまるかもしれないので注意したほうが良い。

大野委員長：まずはホームページや掲示板に貼っていただいて、まずこういった対策や週間があるということを市民に周知するという提案からだ当局も受け入れやすいと思う。